

2017年  
5月号  
Takamatsu JC

# ACTION NOW

公益社団法人高松青年会議所

Vol. **2**

高松青年会議所事業案内

教育実践事業

女性特集

対談:思いやりあふれるまちの実現にむけて

木内 晶子(女優)

香西 志帆(映画監督)

西村 周子(公益社団法人高松青年会議所理事長)

JC女子会(with 松山青年会議所)

## 編集後記

一般的な社会の年度も変わり早くも2か月となりました。

異動や新人の受け入れなど新しい環境に皆様慣れてきたところでないでしょうか?

我々青年会議所はいよいよ本年度の活動が佳境を迎え、市民の皆さまに広く活動を見ていただく機会が増えてまいります。我々総務・広報委員会としまして、皆さまに参加いただきやすい環境づくりに努めてまいります。ホームページなどご覧いただけましたら幸いです。

また、次年度の理事長予定者が松岡敬三君に決定しこれから次年度の組織づくりも始まります。

本年度の活動をしっかり行い、市民の皆様と共に歩むために確実な引継ぎを行ってまいります。これからもよろしくお願いいたします。今回は9月発刊予定です。

総務・広報委員会 副委員長  
久保 光輝

ACTION NOW 2017年5月号

編集・発行所 平成29年5月11日発行

公益社団法人 高松青年会議所  
〒760-0029  
香川県高松市丸亀町2-13  
丸亀町式番街3号館4階  
TEL:087-811-4677  
FAX:087-811-4678

<http://takamatsu-jc.com>

高松JC

検索



スマートフォン、タブレットの表示に対応しています。

QRコードで  
今すぐアクセス!

# 入会者募集



青年会議所とは、「明るい豊かな社会」の実現に向け、次代の担い手としての責任感を持った20歳から40歳までのリーダーを志す青年の集まる団体です。

私たち(公社)高松青年会議所はともに学びあう仲間を募集しています。

「もっと切磋琢磨できる仲間が欲しい」

「異業種の方々との接点が欲しい」

「もっと自分を磨きたい」

「自分の住み暮らす街をもっと元気にしたい」

どんな理由でも私たちは待ってます!

入会説明は随時行ないます、お気軽にお問い合わせください。



詳しくはこちらへ

高松青年会議所入会のご案内  
<http://takamatsu-jc.com/nyukai>

異業種交流会開催のお知らせ

2017  
6/2 FRI

高松青年会議所のメンバーに実際に会ってお話をさせて頂く機会となっております。ご興味のある方は担当までご連絡ください。

会員拡大担当 合田 政義  
mail: [takamatsu-jc@ca.pikara.ne.jp](mailto:takamatsu-jc@ca.pikara.ne.jp)

お待ちしております!



映画監督

# 香西志帆

高松青年会議所 理事長

# 西村周子

女優

# 木内晶子



高松青年会議所 理事長

女優

映画監督

## 香西志帆 × 木内晶子 × 西村周子 思いやりあふれるまちの実現に向けて

現在の活動と自己紹介をお願いします。

**木内** これまで俳優業を一筋ですつとやってきました。5年前にうどん県副知事を拝命してからは地元香川の仕事を一気に増え、観光PRをさせていただいております。香川県内のイベントに出たり、地元の歌を歌ったりして俳優業以外のお仕事も最近では増えています。

**香西** 木内さんが兵庫町をPRするイメージソングを歌われていて、そのプロモーションビデオを私が撮影しました。

私は、地元の銀行に勤務しながら、地域を発信する映像を8年ぐらいいり続けています。ほかにも香川県の広報誌、普通寺市のガイドブックを作ったり、ロケ地マップを作ったりしています。

**西村** 香西さんには、高松青年会議所主催の第1回人間力大賞(2012年)で準グランプリを受賞して以来、かわわりを持たせていただいております。人とのつながりのすごさを感じます。

**香西** 人とのつながりは地方の強みだと思います。もし、私が東京で映画監督していたとしても作品見て気に入った人しか応援してくれないと思いますが、地元だと無条件に応援していただいたりすることがすごく励みになります。

「香川、高松の魅力」について

**木内** うどん県副知事として地元へ帰る機会が増えました。美しい瀬戸内海や山々を見ても当たり前だと思っていた風景がこんなに贅沢だったと気づかされました。最近ではうどん県としてもアート県としても東京の方々、海外の方々から聞かれることも増えましたので、これからうどん世界に発信できるのではないかなという期待があります。

**木内** 地方はコミュニケーションが取りやすいので、アイデアが生まれやすいですし、周りと情報交換できるから、より色々なことを解決するのにアイデアが生まれやすいんじゃないかなというところはありますね

「香川県に足りないところ」は？  
**木内** 「うどん県、それだけじゃない香川県」というフレーズのもとやっています。認知度は高まってきましたが、まだまだ知ってもらえていない素晴らしい情報がたくさんあると思っています。

**香西** 与えられた情報よりも自分で調べた情報のほうが入ってくると思っています。気になる地域でいて、みんなが自発的に調べてくれるような場所でありたいと思っています。

**西村** 高松に来る人ついでというのは、海外や都会の人なのに、そういった人を対象としたサービスができていないように思います。ちょっとしたおもてなしとかが全然できていないように思います。

**香西** どれだけいいまちでも、住んでいる人におもてなしの気持ちが必要だったり、素敵な場所になりません。官民が一体となつて、地域みんなが感動してもらえらまちづくりができたらと思います。

瀬戸内国際芸術祭をしている福武さんの息子さんが言うには、開催をお願いされた芸術祭は続かなかつたり盛り上がりなかつたりするようです。瀬戸内国際芸術祭は、当初、島の人みんなが反対しており、説き伏せた地域はみんなが段々盛り上がり、あげてそのままにしても、地元の人が頑張ってくるといふのを聞きました。ちよ



待があります。

**香西** 最近では四国のどこかと聞かれなくなり、知名度が上がったと思います。地名を言ったら「みんなうどん食べに行きたい！」という風にわくわくする地名に変わったなと思います。

**木内** うどんだけでなく、島、骨付き鶏、和三盆等聞かれるようになりました。

**西村** 先日台湾と韓国に行ってきたところ、島のことを魅力的に思っていたいたっていました。

高松は空がきれいと感じて、食べ物だけじゃなくて自然にあるものを凄くもつともつと魅力として発信できる可能性があると感じました。

**香西** 岡山側からだ逆光になるため、香川は瀬戸内海で唯一島が緑に見えるらしいです。

また、ヨーロッパに行く、高松では知られてなくても盆栽が知られています。昨年、「盆栽たいそう」という楽曲とプロモーション映像を作成し、フランスのジャパンエキスポでPRしました。

高松青年会議所の活動について

**木内** 職種が違う方々が集まっているにもかかわらず、互いに尊敬しあつていて情熱的

と閉鎖的なところがあるんだつたら、ポジティブに捉えて、私もそうだし青年会議所のみなさんでどんどんほぐして、マイナスがプラスに変わったらいなって思っています。

**西村** 短い滞在時間であっても、期待以上の体験、気づきがあれば、きつとまた新しい人と呼んで来てくれると思っています。

**香西** 思いやりついでの中でチャンスだと思つていて、「あ、今思いやりを発揮できるチャンスや！」つとときに思いやりを発揮したら、みんな倍ぐら感動してもらえます。面倒くさいと思わないで、前向きに全部ポジティブな言葉に置き換えてやるのが必要かなと思います。



で結束力が強いと感じました。

そして男性の中で女性が頑張っていることが私は凄く嬉しかったです。女性初めての理事長ということで就任の経緯を教えてくださいませんか？

**西村** はじめは組織のトップつて男性が立つべきだと思つていましたので、チャンスはあつても断つていました。あるときに、女性らしくやつてみる一年があつてもいいんじゃないかと、トライしてみる価値はあるんじゃないかとメンバーに言われました。いつも心の中にある勇氣を持つて目の前の一步をだすというのをふと思ひだし、失敗してもいいからやろう、やつて失敗することは悪い出たとしても、トライしなかつたことに関しては一生悔いには残ると思つて、立候補させていただきました。

女性でも活躍できる環境を作つていただいたと思つています。

香西さんの活力源は何ですか？

**香西** 働きながらの活動ですので、大変なことがほとんどです。休みもほとんどありません。

しかし、辛いときでも必ず応援してくれる地元の方がいます。それを励みとパワーに



変えて、県外や海外の映画祭などで地元をPRしています。

JCさんに依頼されて制作した映画「しまこと小豆島」であれば、すぎきじゅんいち監督が東京で映画を見て、小豆島まで泊りがけでロケ地巡りしてくださつたことが凄くうれしかったです。また、映画を見て香川県をPRする仕事の依頼も来ていてつながらつていると感じています。

女性という観点でいえば、着眼点がちがうこともあつて企画力とか、アイデアとかは豊富な気がします。西村さんには女性の強みついでの高松を盛り上げるために表現されたらいんじゃないかなと思ひますね。そうすれば、女性が活躍できるんじゃないかなと思います。

**木内** 香川は女性の方が強いイメージです。男性も女性もあつたかいいんですけど、昔に比べたら働く女性のイメージも香川でもつたように思います。

**香西** 実家の母親とかが近くに住んでいる確率が、絶対東京の人より高いと思うので、地方に住む女性つて子育てには絶対恵まれてると思ひます。ですので、働く環境とかが整つていないかと思つていて、

# 教育実践事業

豊かな心を育むための出前授業

## 教育実践事業とは？

2011年より子どもたちの豊かな心の育成を目的におこなわれている事業です。

今の子どもたちが大人になる時代を考え、心豊かな道徳心を育むため、地域の人々とともに社会全体で子どもたちへの教育を大切にす温かい風土を醸成し、ともに成長する共育を推進しています。

この事業開始から7年目になりますが、開始時には産みの苦しみがありませんでした。社会に根差した活動にするための教育は何かと考え、学校と家庭の両面で子どもたちの育成に必要な環境を作り上げることを目的に、まずは食育プログラムを作成することになりました。教育に関するこのため、各機関への確認作業や教育現場へのPR等の手間暇を掛けプログラムが完成し、今に至るまで使用され続けています。

開催期間

2017年5月～11月

事業概要

以下の4つの教育プログラムを行います。

対象

高松市内の小学校



|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| <p><b>米つぶ3兄弟の願い</b><br/><b>食育プログラム</b><br/>(対象) 小学校低学年<br/>時間 45分<br/>お米が生産されご飯として食卓に並ぶまでの過程を知り、生産者や、食卓を作る親、そしてお米自身の気持ちや「感謝の心」や「もったいない」という気持ち、「命の大切さ」を学ぶプログラムです。</p> | <p><b>おせたい</b><br/><b>徳育プログラム</b><br/>(対象) 小学校中学年<br/>時間 45分<br/>私たちの住む四国には四国遍路があり、その中で自然発生的に起こった「おせたい」という文化があります。利他の精神からなるこの「おせたい」文化について学ぶことにより、子どもたちにも出来る「おせたい」として「あいさつ」の重要性を伝え、地域社会に誇りを持ち、お遍路さんだけでなく地域の人も感謝の気持ちを持って「あいさつ」が出来るようにするプログラムです。</p> | <p><b>差別や偏見に立ち向かう心</b><br/><b>人権プログラム</b><br/>(対象) 小学校中・高学年<br/>時間 45分<br/>国立療養所大島青松園やハンセン病の歴史を通じて、「思いやりの心」や「差別や偏見に立ち向かう心」を育むためのプログラムです。</p> | <p><b>国際貢献</b><br/><b>国際貢献プログラム</b><br/>(対象) 小学校高学年<br/>時間 45分<br/>未来を担う子どもたちが国際社会の一員として成長するために、UNSDG（持続可能な開発のためのグローバル目標）の知識を得ることや、なぜ国際貢献が社会にとって必要なのかを考えてもらう国際貢献の意義を伝えるプログラムです。</p> |
|--|---|--|---|

## インタビュー

# 落合 信之 先輩

株式会社アイネクスト 代表取締役専務  
JC入会:2009年 JC卒業:2015年

## 教育実践事業を始めた際の委員長であった落合信之先輩に聞く

子供たちの教育は、単に学校ではなく、学校・家庭・地域社会が適切な役割分担を果たしつつ、相互に行われることが大事だと思いますが、あなたはどう思いますか。高松青年会議所の理事に手を挙げた数週間後に質問をされました。その時は質問の内容が分からず困って答えることが出来ずいたところ、その様子を察して「あはは」と明るく笑って許して頂いたことを鮮明に覚えています。それからの準備期間、自分なりに情報を収集し、行政を始め多くの方々にお世話になりながら、教育をテーマにJCとして取り組むべき課題について仮説を立て朝まで議論した記憶があります。意識・関心が変わるとJCメンバーの中には地域で消防活動を行い自治会に参画し、PTAの役職を受けている人が多くいることに初めて気づき、自分が地域社会で何もしていないことを恥じた事を記憶しています。全く想定していなかった前向きな変化としては、プログラムに参加したJCメンバーが教育に対しての意識変革が見られた事でした。今では私の子どもも小学生になり、PTAの役職をさせて頂き、また自治会の行事も参加可能な範囲ではありますが参加させて頂いております。大人が出来る地域貢献は多くありますが、最も大切なのは教育であるとある方が言っていました。卒業して2年になりますが、今も現役メンバーが本事業を継続して頂いている事に大変感謝しています。

# 高松人間力大賞2017

青年版国民栄誉賞を決める事業

## 人間力大賞とは？

環境・教育・国際協力・医療・福祉・文化・芸術・スポーツ・まちづくり等の分野で積極果敢に活動が続いている光輝く傑出した若者に光をあて、「青年版国民栄誉賞」と位置づけることで、その活動を広く発信し、更なる活動の幅を広げるために地域全体で支援する機運を醸成する事業です。

日時場所

2017年4月30日(日) 14:00～18:00  
高松国際ホテル 瀬戸の間

事業報告

20歳から40歳までの青年版人間力大賞ファイナリスト5名と本年度初の取り組みとなる学生版人間力大賞ファイナリスト5組がそれぞれプレゼンテーションによる最終選考会を行い、グランプリを決定いたしました。  
なお、青年版人間力大賞のグランプリ及び準グランプリ2名の合計3名は公益社団法人日本青年会議所が主催する第31回人間力大賞に申請いたします。

## 学生版人間力大賞グランプリ

## 青年版人間力大賞グランプリ



**頼富 光平 様** ◆所属団体◆  
学生団体cocokara

### ◆活動内容◆

2011年11月に3大学8名にて設立した非営利活動任意団体。過去からのリベンジ組が多かったため、本音を語り合える居場所づくりと個々のやりたいことを応援しあう事から出発。その後まちづくり・教育分野を中心に地域活性化と対話の場づくりを展開。一時団体崩壊の危機に陥るが、2015年に拠点をココカラハウスに移し組織を改変し現在に至る。若者の若者による人材育成集団という軸のもと、「居場所と地域と社会をつなぐ活動」「子どもと地域をつなぐ活動」「鳥活性化プロジェクト」の三本柱で活動。若者が自分自身について見つめ合いながら、自分のしたいことを提案することでアイデアが生み出され、実現へと導いている。それらの経験を通し、地域活動に積極的に参画し、地域で活躍できる人材を育てている。学生が学生を育てる集団である学生団体cocokaraには1人1人が成長し合っている姿があり、新しいものを生み出すことができる強みがある。



**田中 志歩 様** ◆所属団体◆  
aste(あすて)

### ◆活動内容◆

2014年5月～2015年3月バングラデシュ・チッタゴン丘陵地帯の先住民の子供達のための寄宿舎学校「モノゴール」にて日本語教師を務める。(香川県知事よりKAGAWA草の根協力大使に委嘱)  
同時期に「aste(あすて)」を立ち上げ、現地の女性が織った伝統衣装を日本やダッカで販売し、女性が現金収入を得るためのフェアトレード事業と、両親が離婚したチャクマ民族の大学生の奨学金貸与事業を開始。帰国後は、静岡文化芸術大学の学生と共に伝統衣装を小物に加工し、イベント等で販売したり、地域の学校等で講演会を行っている。2017年からは、バングラデシュの先住民の中で特に社会的に弱い立場にあるクミ民族やムロ民族に焦点を当てた活動を、「教育支援」「現地パートナー団体の育成」「雇用創出事業」「先住民に関する調査や文化記録活動」と範囲を広げて取り組んでいく。



青年版人間力大賞準グランプリ  
淵崎 義之 様



青年版人間力大賞準グランプリ  
今川 宗一郎 様



高松市長 大西 秀人 様



(公社)高松青年会議所  
人間力向上委員会 委員長  
筒井 敏司

# 女子会 with 松山青年会議所

2017年4月9日高松市内のレストランにて、松山青年会議所と高松青年会議所の合同の女子会が開催されました。高松青年会議所の中で女子会員は1割程度ですが、参加いただいた感想を聞いてみました。



西村 周子 理事長  
(株)EBISU 取締役

所属するLOMは違えど、女性らしく、其々の個性を活かしながら青年会議所活動を楽しんでいることが分かり合え、新しい出会いとともに沢山の励みと勇気を頂きました。“なでしこレポート”はじめ松山JCのなでしこの皆様が伝えるひとつ一つの言葉のちからや笑顔がきっとこれからの私たちの活動の支えになるのではないのでしょうか。

JC歴:11年目

働く同世代の女同士、JCのことや仕事のことなど、初対面から話が弾みました。JCは圧倒的に男性が多い世界ですが、女性だからと変に肩ひじ張るのではなく、お互い真摯にがんばる姿を励みに、これからも成長していきたいと思いました。



相本 茉樹 会員研修委員会幹事 JC歴:2年目  
のぞみ総合法律事務所 弁護士



泉川 祐子 事務局長 JC歴:4年目  
(医)健愛会 あきやまクリニック 理事

女性会員が少ないなか、悩みや共通の話題を共有でき良い機会となりました。これからは、女性ならではの心配りや優しさは大切に、より地域に必要とされる人材・団体になっていくために、女性の力が必要だと思いました。頑張っている女性会員の姿をみて、「私も青年会議所で頑張りたい!」と思っていただけ女性会員の会員拡大にも繋がってほしいです。

JCのことや仕事、そしてプライベートなことまでとても楽しくお話ができました。JCは圧倒的に男性が多く、少し寂しく思いましたが、悩みなども共有でき、また一層頑張っていきたいと思いました。もっと女性が参加しやすいような仕組み作りをし、会員が増えればよいなと思いました。



井藁 実香 会員研修委員会委員 JC歴:1年目  
あなぶきホーム(株)



高橋 瑠奈 渉外委員会幹事 JC歴:2年目  
高橋司法書士事務所 行政書士

女性メンバーのみで会話することで、女性会員ならではの利点や悩みを再認識し、共感しあうことができたので大変良い機会となりました。松山JCの皆様は、女性としての華を活かして広報活動に注力されており、高松JCの広報活動の参考になると思いました。高松JCでも、今後女性同士の意見交換が積極的に行われるような場が継続して設けられる契機となればと思います。



## ～残念ながら参加できなかった女子メンバーのコメント～



三野 環 まちづくり委員会委員 JC歴:4年目  
香川オリブガイナース球団(株) 代表取締役社長

母として夕食の支度をして家族と過ごす時間をJC活動に費やすことで、娘には寂しい想いをさせていることに罪悪感がありました。けれども今は一番の応援者でもあり、大人になったら入会したいとも言っています。JCに出会って私の考え方がより良く変わり環境も大きく変わりました。入会して出会った皆さんに感謝しています。また、女性会員が少しでも活動しやすい環境作りを皆で考える事でさらなる拡大に繋がればと思います。

働く同世代の女同士、JCのことや仕事のことなど、初対面から話が弾みました。JCは圧倒的に男性が多い世界ですが、女性だからと変に肩ひじ張るのではなく、お互い真摯にがんばる姿を励みに、これからも成長していきたいと思いました。



野澤 美沙 ひとつくり委員会委員 JC歴:3年目  
(株)板東商事 取締役

## 2018年度 理事長予定者紹介 松岡 敬三 君



【経歴】 2002年 香川大学工学部安全システム建設工学科 卒業  
2010年 香川大学大学院地域マネジメント研究科 卒業  
2011年 株式会社イーグルハウス興業 代表取締役 就任  
2012年 公益社団法人高松青年会議所 入会  
2016年 公益社団法人日本青年会議所 四国地区協議会 運営専務  
2017年 公益社団法人高松青年会議所 副理事長

公益社団法人 高松青年会議所 2018年度理事長予定者となりました松岡敬三と申します。高松を中心として地域社会へ奉仕し、世界との友情を紡ぐために高い志を掛け、会員一同手を取り合って修練してまいります。本年に続き次年度もよろしくお願致します。

# 6月例会事業

人間力の重要性と高め方を学ぶ事業

日時 2017年6月14日(水) 18:30～20:00  
場所 (受付:18:00)  
高松シンボルタワー展示場

事業概要 藤尾秀昭氏講演会  
人間力の本質は何か。～人間力溢れる人が地域を変える～

参加申込 ホームページ掲載のチラシ裏面の申込書のFAXもしくはホームページから申込みください。



高松JCメンバー紹介① 高松だけでなく、四国や香川のために委員長として活動しているメンバーを紹介します。

## 神原 信之介

㈱ゼムス 代表取締役社長  
JC入会:2012年

*Shinnosuke Kanbara*

(公社)日本青年会議所 四国地区協議会  
四国経済再生委員会 委員長

「人は人によって磨かれる」。しかし、私はこの言葉にも長い間、理解ができませんでした。私の委員会の目的は、インフラ投資の必要性を市民に訴え、四国の新幹線計画の実現に向けて市民の機運を高めることです。ただなかなかうまくいかず、何度も心が折れそうになりましたが、それは、香川県や四国を「愛する市民の気持ち」を高めていくことだと感じるようになりました。出向という出逢いの中で、談義をし、行きついた答えでした。冒頭に述べた言葉の意味が理解できたような気がしています。私は今年で青年会議所を卒業します。自分で出来る事はわずかしかなかった。でもその少しの事を、多くの仲間と分かち合い、1ミリでも精進してまいりたいと思います。青年会議所は40歳で卒業です。40歳までに歩いたその道は41歳からの一歩を変えていくのだと信じています。



高松JCメンバー紹介②

## 泉 丈二

㈱住まいる工房 代表取締役  
JC入会:2014年

*Joji Izumi*

(公社)日本青年会議所 四国地区 香川ブロック協議会  
「全うな日本人」育成委員会 委員長

委員長になるまでは、高松JCで委員長経験がなかったので、事業構築や委員会運営など不安が先行していました。しかし、いざやってみると同期委員長が支えてくれ、多くの熱い思いの持った友人にも巡り会えました。先日、担当事業である憲法事業が終わり、高松JCの事業でもないにもかかわらず高松JCのメンバーが多く助けていただいたことに感謝しています。また、来場者から有意義だったとの多くの感想いただきホッとしています。出向により多くの経験や学びをいただき、感謝しています。

